衛生器具の安全のための表示

一般社団法人 日本レストルーム工業会では、ユーザーが安全に衛生器具をご使用いただけるよう、「人身への危害と財産への損害を未然に防ぐための警告及び注意表示」について、基本的な注意事項の表示の仕方を取りまとめました。なお、このガイドラインは、規格や基準といった性格のものではなく、これをどの程度採用するかは、各事業者の自主的な判断に委ねられる。

衛生器具における警告及び注意事項の表示例

危害・損害の程度の定義と表示方法

警　告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
注　意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるかまたは物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

図記号の基本形状

	この図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
	この図記号は、必ずしていただく「強制」の内容です。

ヒーター付き便器

危険・損害の程度の定義と表示方法	図記号	注意事項
警告		水がかかったり、陶器の表面に結露が生じるような浴室などでは、絶対に使用しない。 故障・漏電の原因になります。
		電源コードを無理な力（曲げ・折れ・ねじれ）で傷つけたり、加工を絶対行わない。 火災の原因になります。
		ヒーター用プラグの電源には、交流１００Ｖを使用し、コンセントにガタつきの無いことを確認のうえ、根元まで十分に差し込む。 交流２００Ｖや直流電源を使用しますと、火災や故障の原因になります。
		ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
		雷が発生しているときは、電源プラグに触れない。 感電の原因になります。
		コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。 たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
		電源プラグに水をかけたり、酸性やアルカリ性洗剤およびシンナーなどは使用しない。 火災や感電、故障(損傷)の原因になります。
		ガタついているコンセントは使わない。 火災や感電の原因になります。
		電源プラグをお手入れの際は必ずコンセントから抜く。 感電の原因になります。
		電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く。 コードを引っ張ると、プラグやコードが傷んで火災や感電の原因になります。
		電源プラグの刃などに付いたほこりは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む。 火災や感電の原因になります。

便器一般

危険・損害の程度の定義と表示方法	図記号	注意事項
注意		洗浄芳香剤などをタンクの中に入れないでください。また、手洗鉢にトイレ用芳香洗浄剤を置かないでください。 漏水や止水不良、作動不良の原因になり、家財など損害を与えるおそれがあります。
		便器には新聞紙、ティッシュペーパー、紙おむつ、生理用ナプキンなど、汚物やトイレットペーパー以外の物は流さない。もし誤って便器内に落とした場合は、必ず拾い出してください。 家財に損害を与えるおそれがあります。
		一度に大量のトイレットペーパーを便器に流さない。 便器が詰まり、汚水があふれて家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

		便器の排水路が詰まった場合、そのままで水を流さないでください。 便器から汚水があふれて家財を汚すことがあります。除去できない場合は、お取付け店に修理を依頼してください。
		手洗鉢の中に造花などの飾り物や芳香洗浄剤を置かないでください。 止水不良の原因になったり、手洗鉢から水があふれたりして、家財に損害を与えるおそれがあります。
		結露が発生した場合は、乾いた布などで拭き取ってください。 結露は、床にシミが発生したり、腐ったりする原因になることがあります。
		タンク内に異物を入れないでください。 水量不足により洗浄不良・便器詰まりを起こし、汚水があふれ、家財に損害を与えるおそれがあります。
		手洗い付き大便器の手洗い金具に水をかけない。 手洗い鉢から水が飛散して家財などをぬらし損害を与えるおそれがあります。
		タンクふたやタンク内部の掃除には、酸性・アルカリ性洗剤は使用しない。 タンク内部の器具を傷め、止水不良などの不具合や水漏れして家財などをぬらし損害を与えるおそれがありす。
		給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで傷をつけない。 給水フレキホースが損傷し、水漏れして家財などをぬらし損害を与えるおそれがあります。
		タンク本体に背もたれしたり、強く押したり引いたりしない。 タンクが破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらし損害を与えるおそれがあります。
		便座や便ふたの上に乗ったり、重いものを載せたりしない。 破損してケガをするおそれがあります。
		手洗い付き大便器の手洗い鉢では石けん類は使用しない。 石けん成分がタンク内部に付着し詰まることで、水があふれ飛散して家財などをぬらし損害を与えるおそれがあります。また、石けんの成分が内部部品の動きを妨げ、止水不良や洗浄不良になるおそれがあります。
		説明書に記載された項目以外の分解や改造はしない。 止水、吐水不良などの不具合や器具が破損し、けがをしたり、水漏れして家財などをぬらし損害を与えるおそれがあります。
		凍結のおそれがある場合は、必ず凍結防止操作を行う。 凍結破損により室内浸水の原因になります。

		床に落ちた小便、露、洗剤、水などは必ずよく絞ったぞうきんでふき取る。 放置しておくと床にシミを作ったり、腐らせたりするおそれがあります。
		便器の水たまり部を見て封水が切れていないことを確認する。 封水が切れている場合に下水ガスに含まれる成分（塩素ガスや硫化水素など）によって設備・機器が腐食し、物的損害・傷害が生じるおそれがあります。
		必ずタンク内が満水になってから流してください。 タンク内が満水になる前に流すと洗浄不良や詰まりの原因となります。
		長期間使用しない場合は、万一の故障のために止水栓を閉めてロータンク内の水を抜き、電源プラグを抜く。
		小さなお子様や、お年寄り、身体の不自由な方が使用されるときは、十分に注意してください。 間違った操作や危ないことをすると故障やけがをするおそれがあります。
		タバコや灰皿、ストーブ、ヒーター等の火気類を近付けない。 火災や故障、変色の原因になります。
陶器一般		
危険・損害の程度の定義と表示方法	図記号	注意事項
 注意		陶器に熱いお湯をかけたり、衝撃を与えたりしないでください。 破損して漏水のため家財を汚す原因になることがあります。
		陶器に硬いものを落とさないでください。 陶器が破損してけがをしたり、水漏れのため家財をぬらす原因になることがあります。
		陶器にヒビが入ったり、割れたりした場合、破損部には素手で触らないでください。 破損部でケガをするおそれがあります。
		陶器にひびが入ったままで使用しないでください。 突然割れてケガをするおそれがあります。